

上越教育大学自然系理科地学教室

中間発表プログラム

期日：平成26年12月23日（火） 会場：講義棟201教室

■開会の辞 12:30～12:35 天野 和孝 教授

■発表

1. アンモニア分子輝線観測に基づく暗黒星雲 L134N における星間分子雲の研究

12:35～13:05 学部3年 木村 圭太

2. 天体の日周運動・年周運動を理解するための全天画像を用いた web 教材開発

13:05～13:35 学部3年 斎藤 美妃

3. 銀河面サーベイに基づいた星形成領域 M17 における分子雲の研究

13:35～14:05 大学院2年 小林 幸典

4. アンモニア分子輝線によるオリオン座巨大分子雲の観測

14:05～14:35 学部4年 大日方あずみ

休憩 14:35～14:45

5. W51 分子雲に対する NH₃ 分子輝線及び再結合線による観測

14:45～15:15 学部4年 虫鹿 寛人

6. 天体の日周運動の理解を促進する教材の開発

15:15～15:45 大学院3年 落井 裕子

7. 富山県小矢部市田川周辺の大桑層産軟体動物群と古環境の変遷

15:45～16:15 大学院3年 金子 敦志

8. 新潟県出雲崎町小木周辺の灰爪層上部の貝化石群の特徴

16:15～16:45 大学院3年 西澤 望

■閉会の辞 16:45～16:50 濤崎 智佳 准教授

■講演 17:00～18:00

授業実践「日食の周期から月の運動を突き止める」

上越教育大学附属中学校 濁川 朋也 教諭

ALMA が可能にする“astrochemistry”と“astrophysics”の融合

上越教育大学地学研究室 濤崎 智佳 准教授